

座長連絡事項（D 会場）

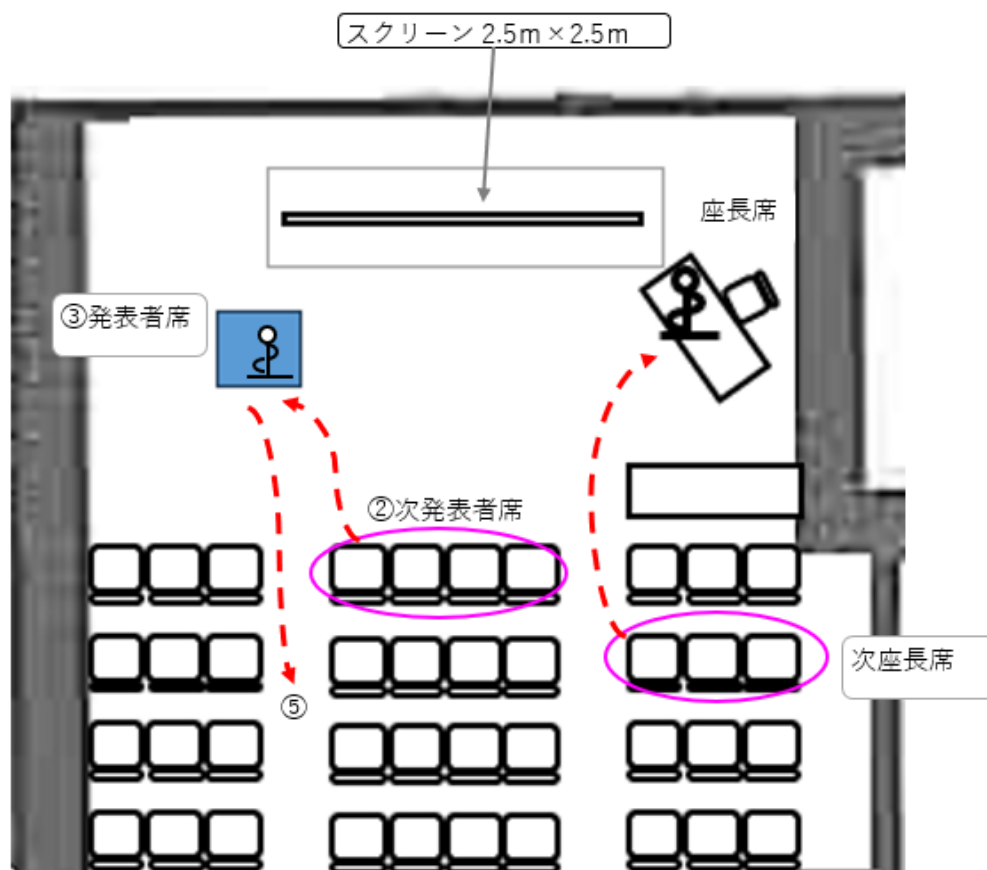
《連絡事項》

1. 12 時 50 分より発表会場にてオリエンテーション。会場責任者からの説明、および発表者との打合せがありますので、必ずご出席ください。プログラム変更の有無（取り下げ、欠席などによる時間変更等）があった場合はここでお知らせします。
2. 開会式は 13 時 00 分、第 1 座開始時間は 13 時 10 分です。
3. ご担当される座の開始 10 分前までに会場内の次座長席へご着席ください。
4. 発表開始。発表時間 8 分、質疑応答 2 分。リミタイマー：7 分で通知音（黄色点灯）、8 分で通知音（赤色点灯）。
5. 『記章』は退会時にエントランスホール内の総合案内までご返却下さい。

※手荷物がある場合は、16 時 10 分までクロークの使用が可能です。地下リハーサル室（役員控室）へお越し下さい（抄録集裏表紙参照）。16 時 10 分以降は、大会本部にてお荷物をお受け取りください。

以下 会場レイアウト図

7. D 会場：小会議室 31



※裏面にプログラム掲載

※これは4月8日現在のプログラムです。当日変更になる場合があります。

第43回大分県病院学会

一般演題目次

【 □ 演 D会場：小会議室31 】

分科会開会式 13時00分 1題持ち時間10分（発表8分・質疑2分）

演題 番号	登録 番号	【カテゴリ】 項目	演題 副演題	会員病院名 発表者 (職種)
1座 13:10～14:00 座長 山下 太郎（高田病院 理事長）				
D01	76	【研究・調査】 その他	高齢者における両側性機能低下をきたす要因について ～注意機能及び認知機能との関連性～	若宮病院 道田 周明 みちたしゅうめい（理学療法士）
D02	88	【治療・リハビリテーション】 回復期	回復期リハビリテーション病棟での心不全管理の自動化 ～RPAを活用したDX戦略とその成果～	大分リハビリテーション病院 香月 康太 かつきこうた（理学療法士）
D03	89	【地域連携】 入退院支援	当院回復期病棟退院後の実態調査への取り組み	川島整形外科病院 斉藤 直人 さいとうなおと（理学療法士）
D04	142	【治療・リハビリテーション】 急性期	末梢神経ラジオ波焼灼療法後の運動療法戦略 ～変形性膝関節症治療の新しい取り組み～	五反田病院 川渕 優太 かわぶちゆうた（理学療法士）
D05	17	【治療・リハビリテーション】 回復期	嚥下障害に対し反復末梢磁気刺激治療を用いた症例	諏訪の杜病院 大杉 知央 おおすぎ ともあき（言語聴覚士）
休憩（5分）				
2座 14:05～14:55 座長 川井 康平（大分リハビリテーション病院 リハビリテーション部次長）				
D06	85	【治療・リハビリテーション】 回復期	脳卒中片麻痺の膝安定性向上を目的とした歩行練習 ～長下肢装具から短下肢装具への移行を図った1症例～	別府リハビリテーションセンター 後藤 陸斗 ごとうりくと（理学療法士）
D07	34	【治療・リハビリテーション】 回復期	入院患者における歩行ロボットPhysibの取り組み ～非実施群との移動FIMでの比較～	和田病院 下山 幸佑 しもやまこうすけ（理学療法士）
D08	140	【治療・リハビリテーション】 回復期	膝前十字靱帯断裂後の保存療法での早期競技復帰例	五反田病院 森山 千広 もりやまひろ（理学療法士）
D09	139	【治療・リハビリテーション】 維持期・生活期	How to move ～這う動作を地域リハビリテーションに活かす～	五反田病院 山本 芳樹 やまもとよしき（理学療法士）
D10	110	【治療・リハビリテーション】 その他	内側縦アーチに着目して膝関節痛が軽減した症例	若宮病院 末吉 啓悟 すえよしけい（理学療法士）
休憩（5分）				
3座 15:00～15:50 座長 大野 哲也（大分リハビリテーション病院 リハビリテーション部係長）				
D11	50	【治療・リハビリテーション】 緩和ケア	意味のある作業がセルフケアに好影響を及ぼした1症例 ～終末期の特発性肺線維症患者に対する作業療法～	大分記念病院 阿部 真也 あべ しんや（作業療法士）
D12	83	【治療・リハビリテーション】 その他	当院における人工膝関節全置換術後の中期成績の報告 ～キネマティックアライメント法を用いて～	内田病院 土谷 雄世 つちや ゆうせい（理学療法士）
D13	46	【治療・リハビリテーション】 その他	回想法により意欲の向上、活動量の増加が図れた事例	黒木記念病院 田中 秋佑 たなか しゅうすけ（作業療法士）
D14	148	【治療・リハビリテーション】 回復期	長期免荷後のTHA術後症例が屋外歩行を達成した一例 ～訪問リハビリテーションとの連携を通じて～	明野中央病院 河津 紫音 かわづしおん（理学療法士）
D15	61	【治療・リハビリテーション】 回復期	ロボット歩行練習と電気刺激療法を併用して行った介入 ～頸髄損傷により不全麻痺を呈した症例に対して～	別府リハビリテーションセンター 伊藤 永晟 いとうながせ（理学療法士）